

JICA2016年度トルコ国別研修

「地域開発に係る地方行政官の能力開発プロジェクト」コースを受け入れました。

平成29年1月23日から2月17日にかけて、トルコ共和国内務省の行政官11名が参加する研修を受け入れました。



北海道開発局長表敬訪問

トルコでは地域格差を是正するために、各地域の資源や特色を有効に利用した地域開発のビジョンが必要とされており、県知事、郡長として地方を統治する内務省地方幹部行政官は、広域的な地域開発の知見を深めることが求められています。

北海道開発局は、国が注力した北海道総合開発の経験を伝えることはトルコにおける地域開発の質の向上に資するとの考えによりJICAから依頼を受け、現役の副知事または郡長を務めるトルコ内務省の行政官を対象とした本研修の実施に協力いたしました。

【研修の様子】

研修プログラムは、北海道総合開発の紹介をはじめとして、道の駅、シーニックバイウェイといった当局が実施する事業のほか、地方自治体や社会福祉法人が進める地方行政や地域開発事例についての講義や視察、先進的な取り組みを行う企業の見学等を組み合わせて提案し、研修員が多くの成果を得られるようディスカッションも開催しました。



ディスカッション

本研修はコースリーダーとして、北海道大学公共政策大学院の小磯修二特任教授をお迎えし、北海道の地域開発事例の紹介を交えて、研修員一人一人にコメントやアドバイスを頂きました。

研修序盤では研修員から担当地域が抱える課題について説明があり、トルコにおいても都市部への人口流出や、季節による観光需要の増減などが問題となっており、北海道が取り組む課題と共通する部分があることがわかりました。



洞爺湖ビジターセンター（洞爺湖町）



アイヌ民族博物館（白老町）

プログラムには道内視察旅行も組み入れられており、洞爺湖町ではジオパークの取り組みについて説明を受けました。火山がもたらす自然災害とうまくつきあい、火山を地域資源として活かしていく地元の取り組みに研修員は大いに関心を示していました。アイヌ民族博物館では学芸員の解説を聞きながら展示物を見学した後、古式舞踊公演を鑑賞するなど、先住民族の文化を保存・振興する取り組みについて理解を深めました。

シーニックバイウェイの活動の視察では、えにわシーニックプロジェクトのご協力を頂き、シーニックナイトで使うスノーキャンドルづくりを体験しました。ローコストで美しい景観を創り出すこの取り組みは、研修員に大変好評でした。



スノーキャンドルに点火



写真提供：
えにわシーニック
プロジェクト



点火したスノーキャンドルを並べた様子



アクションプラン発表会

研修終盤には、本研修で広めた知見をトルコでどう活かしていくのか、各研修員の計画を発表する「アクションプラン発表会」を開催しました。ここでは地場製品のブランド化や、観光閑散期に合わせたイベント開催など、独自のアイデアが発表されました。

北海道での行程の後には、トルコとゆかりの深い和歌山県串本町のほか、兵庫県、東京都を訪れ、2月18日に研修員はトルコへ向けて出発しました。

北海道総合開発の経験や各地の地域開発の取り組みが、トルコにおいても活かされることが期待されます。